

## グループホームふれあい

## 地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	19	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	3	
		1 外部評価 1	<b>地域密着型サービスとしての理念【外部評価】</b> 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	その人らしさを考える、理念作りを職員が一同一堂に集まりBS方式で考えました、その理念をグループホーム入口の右側に額に入れて掲示している。	1	もっと地域の関わり地域の方たちと共に楽しみ、なじみの関係を作る取り組みをしていきたい。
		2	<b>理念の共有と日々の取り組み</b> 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	利用者の訴えを傾聴し、意志を尊重した支援を行っている。	1	個人の情報収集が少ないので家族から情報を得る。
		3 外部評価 2	<b>家族や地域への理念の浸透【外部評価】</b> 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域の方や、ご家族にふれあい行事の秋祭りや、もちつき大会などに参加していただき、利用者の表情など見ていただく共に家族会や運営推進会議において、日常生活の状況報告をしている。	1	もっとグループホームへ来設して頂き理念に基づいた生活ができていくように取り組んでいきたい。
		2	地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	2	
	2	4	<b>隣近所とのつきあい</b> 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	グループホームふれあいの名前入りジャンパーを用意したので外出するときはそのジャンパーを着用して、グループホームの認識を図っている。 又、見学者があればいつでも心よく受け入れ案内等を行っている。	0	
		5 外部評価 3	<b>地域とのつきあい【外部評価・重点】</b> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	小学校の行事として年明けに「どんどん焼き」に入所者及び職員が参加し地域の皆様「おやし会」皆様と交流を持つことが出来ました。今後の交流につなげていきたい。	1	隣組に加入し日常生活においても、地域の方との交流ができるように心がける。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2	6	<b>事業所の方を活かした地域貢献</b> 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の敬老会に運営者と職員が参加し、地域に於ける高齢者の状況の把握を行っているところです。	1	民生委員さんなどに声をかけ地域の1人暮らし方などの来設をお願いし地域の方達の暮らしに役立たせたいと考えている。
	3		理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	3	
	3	7	<b>評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】</b> 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	初めての外部評価を受けて、具体的な改善に向けて、これからの支援につなげていく。	0	
		8	<b>運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、グループホームの現状と行事、スタッフの研修等の報告を行い、地域の方や市の職員からの意見を頂き、よりよい運営ができるように努力している。	1	消防団員の参加を要請中、防災面の意見、又は緊急時の対応等にも地域に貢献できないかを考えている。
		9	<b>市町村との連携【外部評価・重点】</b> 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営を行う中で、疑問点がある場合は、その都度アドバイスを頂いている。又、秋祭りや豆まき等の行事には市の担当者に参加を呼びかけ出席していただいている。又、市町村主体の学習会、研修会に参加しサービス質の向上に努めている。	0	
		10	<b>権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】</b> 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	していない。	1	今後、内部研修の課題として取り組みたいと考えている。
		11	<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	暴言、暴力だけではなく言葉や行動の虐待についても日頃の会話の中で話題にしている。	1	スタッフの悩みやケアに対する相談を受ける事で虐待防止に努めている。又、ケアに対する悩みは職員のミーティングで話し合うようにしている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	7	
理念に基づき運営	理念を 実践 する ため の 体制	12	<b>契約に関する説明と納得</b> 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を行う時など疑問点がある時は、その場で納得が得られるように解答し、入所当初は入所者の様子を家族に報告するように努めている。	1	説明不足の点などは改善を行いその都度、家族の方たちと話しをし納得していただく。
		13	<b>運営に関する利用者意見の反映</b> 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の声には耳を傾けご本人の心の声を聞くように心がけている。又、月2回のおんしん介護員により意見を聞く。又、家族が部屋で面会される場合は家族より状況が得られるように配慮している。	1	利用者の方が何でも話せるように、気持ちを伝えられるような雰囲気づくりをしたい。外部研修で学んだことを取り入れ利用者が日常生活が安心してできるようにしていきたい。
		14	<b>家族等への報告【外部評価・重点】</b> 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	健康状態は常日頃から担当医と相談し必要時は、家族に報告する。金銭管理については家族会の時に出納帳及び残金を確認していただき押印を頂いている。	1	金銭管理については、ご家族が希望された時などいつでも報告できるようにしている。
		15	<b>運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】</b> 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や家族会等で家族からの意見を聞くよう努力している、又、改善等があれば速やかに取り組むようにしている。	1	不満、苦情などはすぐにスタッフに報告、何でも話せる関係を作りたい。
		16	<b>運営に関する職員意見の反映</b> 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	平成19年2月から月に一度会議を行うようにしている。現在の問題点を運営者へ報告を行う、改善内容については提案を出し合っている。	1	その都度改善案を考えこれからの反映に役立てる。
		17	<b>柔軟な対応に向けた勤務調整</b> 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者が外出希望が出た場合は、全職員はシフト変更があることを了解して、いつでも必要な人員をそろえるようにしている。	1	家族ではなくて対応できない状態の時はご家族の協力を頂く。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
理念に基づく運営	4 理 念 を 実 践 す	18	<b>職員の異動等による影響への配慮【外部評価】</b> 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者が安心して日常生活を送れるように人事異動を最小限になることを心がける。又、職員の人員の減少が生じないようにしている。	1	今後職員の急な欠員の時は、同設のふれあいホームからの応援を考えている。	
		5 人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)			自己評価6項目・外部評価4項目	4	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	人 材 の 育 成 と 支 援	19	<b>人権の尊重【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用にあたっては性別や年齢の差別は行っていない、内部研修や外部研修で学んだことを取り入れる時も職員一同の意見や疑問点を話し合いによって行っている。	0	
			20	<b>人権教育・啓発活動【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	市や県の研修への出席を行い、又、外部からの講師を招き施設内で研修を行い認識を高めている。	0	
			21	<b>職員を育てる取り組み【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部より月1回講師を招き入れ認知症についての、勉強会を行っている。又、市町村で行われる研修会の連絡等があったときは早めに回覧し、自発的及び積極的に出席するように促し、出席したい研修には無理が無いようにローテーションを組み直し出席できるようにしている。	1	経験年数に応じて、社会福祉協議会主催の認知症介護実践者研修等への受講を考えています。
			22	<b>同業者との交流を通じた向上【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在、市内のグループホームと交流を持ち、自社職員の3日間の研修を受け入れて行って頂いている。研修は目的、毎日の気付き、施設職員とのミーティング行い、学びが深められる内容になっている。	1	研修は全職員が行い当施設に於けるケア活動に役立つように努力したい。
			23	<b>職員のストレス軽減に向けた取り組み</b> 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	運営者と管理者及び職員間の交流、及び意見交換等考え、1月は新年会を行った。	1	定期的にレクリエーション(ボーリング・カラオケ)などを行い、又は意見交換の場を作り職員の心のケアを取り組みたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	<b>向上心を持って働き続けるための取り組み</b> 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	季節ごとの近くの催し等、意欲的に参加することなど、行事、外出等に関しては各職員が計画し責任性を持たせ、やりがいのある職場作りに努めている。又、希望のある研修等には可能な限りの調整、協力を得て出席できるようにしている。	1	勤務記録や研修等の報告を各個人ごとにファイルしているが、今後それを元に、職員を評価し表彰等も考えていきたい。
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2 (自己 25～34・外部 15～16)				自己評価 10項目・外部評価 2項目	8	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価 4項目・外部評価 1項目	2	
		25	<b>初期に築く本人との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者が信頼している職員と共に外出した時施設での生活で不安なこと困っていることを聞きスタッフ一同が情報を共有できるようにつとめ、利用者の生活において支障が出ないように努めている。	0	
		26	<b>初期に築く家族との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面会時施設での生活状態を報告することで家族との関係を作り、家族の要求、不満が言い易い環境作りに配慮している。スタッフと家族の関係は良好に感じる。	0	
		27	<b>初期対応の見極めと支援</b> 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の希望と認知症の状態、家族の希望等について可能な限り、受容的に受け止め、他のサービスについての情報提供も行う。	1	状況に合わせ本人ができることから始めケアプランの内容を変更又は逆デイや地域の祭りごとに参加していきたい。
		28 外部 評価 15	<b>馴染みながらのサービス利用【外部評価】</b> 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族とスタッフがなじみの関係であることを利用者に分かっていただき、次第に慣れていただくように努力する	1	これからは、これまでに生活していた時に近づくために自宅より馴染みの物(家具、大切にしている物、思い出の物)を持参していただく。
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)				自己評価 6項目・外部評価 1項目	6
係り2 継続 これ のま での 支援 関係 づく り 関 心	29 外部 評価 16	<b>本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	料理のしかたを聞き、利用者から学ぶようにしている。買物の時には野菜、肉を見ていただき利用者の声を参考に選んでいる。	1	ご家族の方の協力を得て利用者の方の得意とする味噌や漬物作りを教えていただき利用者や職員で作る予定を立てている。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	<b>本人を共に支えあう家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	行事の時一緒に参加して頂き職員と共に利用者と感情の共有ができるように努力している。	1	家族同様のイベントを計画し参加を頂き一緒に楽しんで頂く機会を作る。
		31	<b>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</b> これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者と家族両方から話を聞きお互いが思っている不満や不満に対して職員が話を聞くことにより、お互いが理解しあえる関係であることに、努力している。	1	心の奥にあるこだわりには入ることは出来ないが、今の本人さんが家族を愛おしく思っておられることを伝えていきたい。
		32	<b>馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅への行き来は、家族との連絡をとり行っている。	1	なれ親しんだ家の近くのスーパーや公園などに出掛けなじみの顔に出会える機会を作る。
		33	<b>利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	無理じいはず共に出きる作業（洗濯たみやレクリエーション）などでコミュニケーションを図る。	1	一人一人の個性を活かし好まれることを同じ時間に行い得て不得手を越え孤独防止に努めている。
		34	<b>関係を断ち切らない取り組み</b> サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	現在までに、退去者はいない。	1	今後退去がある場合、家族との相談に応じていきたい。
		その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価17項目・外部評価6項目
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価3項目・外部評価1項目	3	
	1	35	<b>思いや意向の把握【外部評価】</b> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	断片的なその場のかかわりに関しては入居者本人の意向重視しているが、全体像がつかみにくく苦慮している。	1	センター方式の導入の検討をしている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	<b>これまでの暮らしの把握</b> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族からの情報によりサービスを行っているが、情報が不十分な為、現在、家族の方々より情報を得ている状態である。	1	人生史を作り、これまでの生活を今まで以上に理解していきたい。センター方式の導入を検討している。
		37	<b>暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	その人らしさを一番に考え一日を過ぎて頂いているが日々が変化がありもっと把握できるように努めたい。	1	認知症により日々変化があるが気分転換に努め外出やおいしい食べ物などゆっくりとした一日を過ぎて頂きたい。又、総合的な把握のため、センター方式の導入を検討している。
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	3		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価18	<b>チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の必要な情報を家族と本人より取り寄せて、利用者が望む介護計画を立てケアを行っている。変更がある場合は家族への情報を提供し利用者にもわかりやすく説明している。	1	ミーティングの時にケアカンファレンスを行い本人、家族との協力を頂き介護計画をもっとよりよいものにしたい。
		39 外部評価19	<b>現状に即した介護計画の見直し【外部評価】</b> 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	その都度話し合い新たな計画を作成している。本人を主体に家族を交えて計画の見直しを行っている。	1	状況の変化に対応出来るようスタッフ間も自己啓発、質の向上に努めていく。
		40	<b>個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々日常生活の活動を記録している。以前と変わった行動、言動があった場合は職員がミーティングを開き今後の介護計画の見直しに活かしている。	1	ちょっとした変化や好まれたこと自分の意見を入れずその人をよく観察し情報の共有見直しにさらに努める。分析等が充分に行いにくい為、センター方式の導入を検討している。
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 柔軟な支援	41 外部評価20	<b>事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】</b> 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	日常生活動作はもちろんのこと、自宅への外泊や、家族又は職員との外出などを試みながら部屋に閉じこもる事がないように心がけている。常に家族との連携に心がけている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42～51・外部 21～22)	自己評価10項目・外部評価2項目	4	
		42	<b>地域資源との協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員は運営推進会議になっていてあらゆる立場としての意見を頂いている。又、施設の行事にはPTAに参加していただいている。利用者には刺激になっていると考えられる。	1	5月には消防署よりの非常時の訓練を計画している。今後は地域のみなさんの協力支援にて安全を図ることができるようにしなければならないと考えている。
	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
		43	<b>他のサービスの活用支援</b> 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	事業所はグループホームのみであり他のサービスを利用することが出来ず過去に生保の方のデイサービス利用を役所に相談したところ、出来ないことがあった。	1	地域の病院施設の方と協力し逆デイやリハビリ等について本人によりよい支援を心がけたい。
		44	<b>地域包括支援センターとの協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要性に応じて、地域包括センターの職員の方に相談できる体制をとっている。	0	
		45	<b>かかりつけ医の受診支援【外部評価】</b> 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所のかかりつけ医もあるが、入居者の疾病によっては以前からのかかりつけ医へ定期受診をしている。その他、その時に応じて家族と相談のうえ受診するようにしている。	0	
		46	<b>認知症の専門医等の受診支援</b> 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	事業所のかかりつけ医は認知症の研修会へ参加されている為、相談しながら支援を行っている。	0	
	47	<b>看護職との協働</b> 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	日中夜間を問わず、グループホームの看護職員やかかりつけの病院に連絡がとれるような体制をつくっている。	0		



大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	<b>早期退院に向けた医療機関との協働</b> 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	看護職員、病院、家族、管理者等を含め話し合いの場を設け、その時に応じた対応がとれるように考えている。	0	
		49	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在に至っては、対象の方はおられなく考えていない。	1	終末期に関しては運営者等に相談中である。
		50	<b>重度化や終末期に向けたチームでの支援</b> 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現状にあっては重度や終末期の利用ではありません。	1	運営者等と検討中である。
		51	<b>住み替え時の協働によるダメージの防止</b> 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	利用者さん本意のもと全関係者が話し合いよりよい方策がとれるようにしている。	0	
		その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	17	
		(1)	一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	1	
		52	<b>プライバシーの確保の徹底【外部評価】</b> 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の方に対する、言葉掛けや対応については、日頃からスタッフ同士注意し合う事を心がけている。個人情報に関しては施設からの持ち出し禁止している。	0	
		53	<b>利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者に声掛けや対応については日頃からスタッフ同士、注意し合う事を心がけている個人情報は施設から持ち出し禁止している。人格の尊重に応じた支援を行っている。しかし、現在は本人に意志の表示が充分に行われていない。	1	本人の意思の表示が自由に行われるような環境づくりを行いたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	<b>日々のその人らしい暮らし【外部評価】</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日、利用者に今日行きたいことを聞くようにしている。利用者が買物や外出があった場合はスタッフと時間を調整し出掛けるようにしている。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	5	
		55	<b>身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	二ヶ月に一回美容師に来院していただき、自分の好きな髪形に散髪をされている。カット代も格安にて配慮し家族の同意を得ている。衣類に関しては清潔重視しおしゃれに対する配慮を行い、外出の際は見出しなみをおこなっている。	1	本人の行きつけの散髪店に赴き散髪も行っていきたい。化粧なども日常の中にとりいれていきたい。
		56 外部評価 25	<b>食事を楽しむことのできる支援【外部評価】</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	基本的に食事は厨房にて作ってもらっているのが現状であるが、野菜や食材を洗ったり、きったり、むいたり、米をといたり、出来上がった料理のつぎ分け、配膳、後片付け等を一緒に行っている。	1	無理示威をせず得意分野で活かして頂く時々同じ作業が重なることがあるが、午前や午後に分けて作業を分担していただいている。
		57	<b>本人の嗜好の支援</b> 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	声かけをし本人の意向を聞き職員とともに地区のお店に買物に行っている。又、時々は状況に応じて喫茶店でティタイムすることもある。	1	疾病のこともあるが、主治医と連携をとりながら本人の希望に叶うようにサポートしていきたい。
		58	<b>気持ちよい排泄の支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	それぞれの状況に応じてプライバシーに配慮して定期的な声かけや時間帯での誘導を行う。夜間帯など睡眠に配慮しながら、誘導を行っている。おむつかぶれや不潔にならないように心がけている。	1	本人を傷つけず気をつかわせずさりげないケアを心がける。
59 外部評価 26	<b>入浴を楽しむことができる支援【外部評価】</b> 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	現在入浴は午後に行っていて、日中は毎日入浴出来るようにしている。いつ入浴したいかを伺い、希望の時間に声かけをして入浴支援している。	1	夜間帯にも入浴できるように、職員の勤務時間の変更により実現できるようにしたい。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	<b>安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの生活のリズムを把握して部屋や居間にて過ごされている。午後には希望者のみ身体の体操を行い、その後にお茶とおやつにて落ちついて頂いたりしている。21時を消灯にしているが、19時に休まれる方や居間でテレビを觀賞される方、部屋にて自由に時間を過ごされる方がおられる。夜間はゆっくり休まれている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	4	
		61 外部評価 27	<b>役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者のしたい事を聞き、掃除、洗濯、食事の準備や買い物や散歩など行っている。その時にも昔の話をしながら、気分転換を図っている。	1	実家に赴き、気づきが見えてはこないだろうかと思ひ、ふるさと訪問を検討している。
		62	<b>お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理は金庫にて保管している。買い物ときは、お金の管理の可能な方は本人がお金を所有し、職員が付き添い気に入った品物をかごに入れられ会計においては、お金を財布から出して精算までを見守りや介助しながら支援を行っている。	1	昔使っていた財布や買い物袋があれば、使用したいと家族にお願いをしている。数名は使用されている。
		63 外部評価 28	<b>日常的な外出支援【外部評価】</b> 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望にそって外出、散歩を行っている。	1	外出の希望がない方は季節に沿って、花を見に行ったり近くの神社の祭りに出かけたりして、気分転換を図るようい心がけている。
		64	<b>普段行けない場所への外出支援</b> 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個別に利用者が外出したい場合を聞き約束した日時には外出する。	1	利用者のご家族が外食をされたり、温泉へ行かれるということもある。
65	<b>電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族の了解をとっており、いつでも利用者に会えるようにしている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	<b>家族や馴染みの人の訪問支援</b> 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	面会時間を設けず、いつでも利用者に会える様にしている。	0	
		(4)	安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)	自己評価8項目・外部評価2項目	4	
		67	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	正しい理解まではいかないが、スタッフ同士の日頃の会話にて話題になる時には内容を把握し介護保険指定基準の見直しを行っている。	0	
		68	<b>鍵をかけないケアの実践【外部評価】</b> 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施設が2階になっているが階段の入口に仕切りがある、日中は鍵を掛けずに危険防止の見守りを行っている、夜間は施錠している。	0	
		69	<b>利用者の安全確認</b> 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は自室に入られたとき、確認を行うようにしている、又、暫くはそのまま様子を見るようにしている。夜間は2時間おきに巡視している。	0	
		70	<b>注意の必要な物品の保管・管理</b> 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	現在安全確保の為に必要な物だけ自室に置いている。	0	本人家族と話し合いなじみの物を持参用意していただき自室の空間作りに心掛けしている。
71	<b>事故防止のための取り組み</b> 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人ひとりの状態については把握も行って、スタッフ間の情報の共有も行って。又、実施に関してはマニュアルを作成している。	1	危機的状況発生時の対応に関しては、専門家の方に実習をお願いする。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	日頃から救急時に備えマニュアルを作成している。	1	5月に消防局より訪問していただき受講の予定である。
		73 外部評価 30	<b>災害対策【外部評価】</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	職員と入所者の避難訓練は行っているが、地域の人々とはまだ訓練していない。	1	今後、火災や災害時に協力を得られるよう、地域の方に呼びかけを行い訓練を行う予定である。
		74	<b>リスク対応に関する家族等との話し合い</b> 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	転倒の恐れがある方には、家族に説明している、利用者へも付きつ離かすの支援を行い安全を心がけている。	1	面会時などには現状の報告を行い本人の希望家族の希望に合わせた対応を行っていく。
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75～81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	3	
		75	<b>体調変化の早期発見と対応</b> 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	全職員が情報を共有できるように日々の申し送りで共有している。	0	
		76	<b>服薬支援</b> 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全利用者の全服薬についての理解は難しく、準看護師のスタッフと相談の上症状において確認を行っている。	0	
		77	<b>便秘の予防と対応</b> 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便の回数や便の状態を把握し服薬の調整をしたり水分補給や身体を動かすなど心がけている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の口腔ケアは職員の見守りのもと行っている。儀歯の方は夜間スタッフが預かり、ポリドント等で清潔に努めている、過去、トイレに儀歯を流したりすることがあり、家族と利用者に相談をすることでスタッフ預かりを行うようになった。	1	週一回歯科医の訪問によりブラッシング等を受けている。
		79	<b>栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人の状態に合わせ特に必要性のある時は個別に対応している。	1	本人が望む食生活が今以上に理解出来るように家族・利用者から状態を保って行っていきたい。
		80	<b>感染症予防</b> 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	食前やおやつの前、及び、外出から帰ってきた時は必ず殺菌用石鹸で手を洗い消毒も行っている。その他、お茶でうがいもしている。食材の準備に取り掛かる時の手洗いも催しを行っている。	1	インフルエンザの予防接種は入所者を始め、スタッフも受けるようにしている。
		81	<b>食材の管理</b> 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板は熱湯をかけている、食材は、消費期限を必ず確認し期限を過ぎている物は処分している。おやつ等の等についても消費期限への配慮を行っている。	0	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	2	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	1	
		82	<b>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</b> 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	ハード面においては段差をなくし手すりをつけるなど工夫をしている。	0	
		83	<b>居心地のよい共用空間づくり【外部評価】</b> 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	でいるだけ花を飾ったりするように心がけている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	<b>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b> 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	その方のその日の気分により居間で過ごされたり、自室で過ごされたり自由に行動されている。仲の良い方同士は隣に座ったりしてコミュニケーションを育んでいる。	0		
		85 外部評価33	<b>居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具などは、持ち込んでいない方がいる。	1	今後、本人・家族と相談しながら持ち込んでいない方々には置いていただけるように話していきたい。	
		86	<b>換気・空調の配慮</b> 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	日中は換気を行い、エアコンにより温度調整を行っている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	1	
		87	<b>身体機能を活かした安全な環境づくり</b> 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	既設の建物をグループホームにしているため、可能な限り生活を通した環境に作り変えている。	1	現在、段差のある所においては今後改築を考えている。	
		88	<b>わかる力を活かした環境づくり</b> 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	料理や掃除の時は職員と伴に声を掛けを行いながら共同でやっている。	0		
		89	<b>建物の外周りや空間の活用</b> 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	屋上のベランダには職員と共に上がり利用している、洗濯物も干しに行く時に利用するときが多い。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目			取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)		該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2 / 3 くらいの 利用者の1 / 3 くらいの ほとんど掴んでいない	2		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2 / 3 くらいと 家族の1 / 3 くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		



大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思 う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足して いると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。